



今月の話題

- 2018-2019年度通年研修における最終発表会のビデオ映像公開について
- ジェネラルミーティングの開催について

研修データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

2018-2019年度通年研修における最終発表会のビデオ映像公開について

国際地震工学センター長 小豆畑 達哉

2018-2019年度の通年研修において、昨年8月に開催された最終発表会における4人の発表ビデオ映像を公開しました。IISEE ウェブサイト上の URL は、<http://iisee.kenken.go.jp/el/>です。

Eラーニングの形式で、ビデオ映像とともにパワーポイントも公開しています。最終発表会の雰囲気とともに、発表者の研究成果を知ることができると思います。国際地震工学センターのウェブサイトを是非ご覧ください。

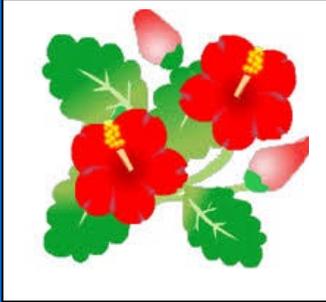
発表タイトルと発表者は以下の通りです。

Ngun Za Iang: Completeness magnitude of earthquakes and b-value in Myanmar, (S-course, Myanmar)

Jyoti LAMSAL: Nepal, Seismic Retrofit of an Existing Residential Building in Nepal to Functionalize as a Hospital Using Ferro Cement, (E-course, Nepal)

Dhira Phadera: A study on seismic performance and retrofit approach for current RC buildings with soft first story in Nepal, (E-course, Nepal)

Michael Linthon Alvarez: Study of the bathymetric influence on tsunami propagation near the coast of Esmeraldas by tsunami simulation and ray tracing analysis, (T-course, Ecuador)



論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様のご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するように誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
http://iisee.kenken.go.jp

2018-2019 コース (S: Seismology, E: Earthquake Engineering, T: Tsunami)		
NAME (COURSE)	COUNTRY	TITLE
Ngun Za Lang(S)	Myanmar	Completeness magnitude of earthquakes and b-value in Myanmar
Jyoti LAMSAL(E)	Nepal	Seismic Retrofit of an Existing Residential Building in Nepal to Functionalize as a Hospital Using Ferro Cement
Dhira Phadera (E)	Nepal	A study on seismic performance and retrofit approach for current RC buildings with soft first story in Nepal
Michael Linthon Alvarez(T)	Ecuador	Study of the bathymetric influence on tsunami propagation near the coast of Esmeraldas by tsunami simulation and ray tracing analysis

ジェネラルミーティングの開催について

国際地震工学センター長 小豆畑 達哉

5月14日、2019-2020年度通年研修における集団研修の完了に際し、ジェネラルミーティングを開催しました。本会議では、本来、研修生とJICA及び建築研究所のスタッフが一同に会し、研修の改善点等について全員で議論することになっています。

今回は、新型コロナウイルスの感染リスクを避ける必要から、研修生とスタッフは別々の部屋からの参加となりました。SコースとEコースの研修生は国地

バックナンバーは
下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

講堂からの参加でしたが、Tコースの研修生は JICA つくばセンターから参加しました。コースリーダー等一部のスタッフは輪講室に集まりましたが、他のスタッフは各自の研究室から、また、JICA スタッフは在宅勤務中であったため、自宅からの参加となりました。

研修生からは、研修については大いに満足できる内容であったとのコメントが多数寄せられました。一方で、外出自粛等が求められる中で、やはり精神的なストレスを訴えるコメントも少なくはありませんでした。

研修生が最後まで研修をやり遂げられるよう、精神的なケアも含めて感染リスク対策には十分配慮して参りたいと思います。